

大学生・社会人の部 金賞

坂巻 克巳 さん 71歳 (東京都)

「雑巾のように」

ワシの名前は「憲法」だ  
古稀を過ぎてるジジイだが  
まだまだカクシャク元気だぞ  
大事にしてくれているあなた  
神棚の上に祭り上げ  
触りもせぬのはやめてくれ

どうしてほしいか聞かれれば  
答えは簡単、雑巾だ  
雑巾のように使うのだ  
暮らしのすみずみ、国の窓  
ゴシゴシ磨きをかけるため  
毎日使ってほしいのさ

そちらの君はワシのこと  
どうやら不満のようですな  
邪険にされる身としては  
ひとこと言わせてほしいのだ  
ワシをどれだけ使ったか  
案外使えるヤツですぞ

大学生・社会人の部 銀賞

仁平 美枝 さん 54歳 (東京都)

「いま、新たな戦前」

娘が twitter で呟く

「子どもの頃、夏休みに留守番してると  
戦争のテレビばかりで、めっちゃ怖かったけど、この頃あんまりやってないね」  
この20年で何かが変わった  
娘の職場はガールズバー  
お客さんが戦争に行ったら  
彼女はとても悲しむだろう

私の兄は

作業所の給料と年金で暮らしている  
吹けば消えそうな  
しょうがい者福祉のお陰で生き延びている  
若者は「最低賃金を時給1500円に！！」と叫ぶ  
健康で文化的な最低限度の生活を求めて

この憲法じゃダメですか

そんなに戦争がしたいのは誰ですか

今こそ

平和と自由と人権を

もっと豊かに花開かせる時

娘の職場はガールズバー

お客さんが戦争に行ったら  
彼女はとても悲しむだろう

大学生・社会人の部 銅賞

大矢 道子 さん 80歳 (埼玉県)

「戦争のない世界をつくろう」

殺せ 殺せ 殺せ 殺せ  
ジャングルで 砂漠で 街角で  
だれかが おれたち ねらってる  
殺さなければ 殺される それが戦争

殺せ 殺せ 殺せ 殺せ  
叫べば 勇気が わいてくる  
鋼鉄と ハイテクの 武器もてば  
人を殺すのは こんなに 簡単さ

殺せ 殺せ 殺せ 殺せ  
私たち 叫ばなくて いいんだよ  
憲法 9条が あるからさ  
いのちを奪い 奪われる 戦争はしない

戦争のない 世界を つくろう  
飢えと 恐怖と 憎しみにあおられて  
人と人が殺しあう  
戦争のない世界をつくろう  
自然の富と労働で、だれでも生きていける  
一番なんか競わない  
戦争のない 世界を つくろう

**大学生・社会人の部 入選**

**仁平 美枝 さん 54歳 (東京都)**

「平成の終わりに」

今日生まれた命が  
最後の瞬間（とき）を迎えるまで  
この国は  
戦争をしないだろうか

交通事故で失われる命より  
自死の数が5倍

我が祖国ニッポンで  
私たちは  
幸せを手にすることができるだろうか

ジョンレノンのイマジン  
を  
けなす人はいないけれど  
その世界を作るには  
微笑みあい、手を繋いで  
1億2652万人の一步を

私は深く呼吸（いき）をする

大学生・社会人の部 入選

奥村 光雄 さん 79歳 (京都府)

「戦争の はなし」

ぼくが 子どもの時

この国は 戦争をしていた

空襲警報のサイレンが 鳴っていた

防空頭巾を被り

ゲートルを巻いていた

ノミやシラミに 噛まれていた

白いご飯は 食べられなかった

暮らしは カーキ色に染まっていた

戦争が終わって 空襲がなくなって

新しい憲法が 出来た

もう戦争だけは やめてほしいと

誰もが 願った

新しい憲法は そこから出来た

大学生・社会人の部 入選

上村 隆 さん 64歳 (東京都)

「人として咲くために」

白い花が咲きました  
みどりなす島々の そこここに  
はてしない海原の  
沖には白波が立っている  
この花や白波のかがやきを  
いつまでも守りつづける  
子どもらの  
秘められた 願いとともに

紅い花が咲きました  
さんさんとふりそそぐ陽の光  
いま燃えるように  
どこまでも続く山々の  
そよ吹く風に木々がゆれる  
この花やみどりのかがやきを  
いつまでも守り育てる  
逃げまどい  
悲しく響く 叫び忘れずに

いろんな花を咲かせよう  
みどりあふれるこの国の  
町や村のすみずみに  
かぎりない時をこえて  
いのちの絆は続いている  
この国や世界中の人々と  
認めあい育てあう  
人として  
ひとしく生きる 願いとともに

## 大学生・社会人の部 入選

清水 邦夫 さん 55歳 (広島県)

### 「平和の源」

それまでは どんな国にも無かった  
戦争をしないと 誓った憲法  
その憲法を作ったのは ニッポン  
戦争をしない国 ニッポン  
戦いの後悔と 反省の中でつくられ  
母や父たちが ずっと守りつづけて  
僕たちは平和に 生かしてもらった  
平和の源 日本国憲法

それまでは どんな国にも無かった  
武器を持たないと 誓った憲法  
その憲法を作ったのは ニッポン  
武器を持たない国 ニッポン  
戦いの後悔と 反省の中でつくられ  
母や父たちが ずっと守りつづけて  
僕たちが平和を 次につなげていく  
平和の源 日本国憲法

大学生・社会人の部 入選

小館 ゆりか さん 31歳 (神奈川県)

「わたしたちのうた」

ひとりきり砂を噛んだ日  
味方などいないとすきだでしょう  
弱くてもいいあなたとともに  
迷い耐える時を踏みこえてゆく

わたしには声がない  
だからあなたの声でうたってほしい  
わたしにはからだがない  
だからちからをすこしだけかして

なにもかも打ち碎かれ  
粉々に積もった命のうえ  
ふるえながらわたしは生まれた

もう二度と心をねじふせられないように  
あなたの声がかき消されないように  
おおきいちいさいものすべてが  
やすらいで生きてゆけるように  
ひとしく孤独ではないように

どうかわたしを忘れさせないで  
あなたのうたを  
あなたたちの声でうたって

自由の旋律に耳をすませ  
怒り慈しみ平和を問う  
生きること選ぶことそして愛すること  
おびやかすものへ  
声よ叫べ